

11 (1) 国内資源活用等

③国内肥料資源の利用拡大に向けた主な取組（マッチングフォーラムの開催）

- 国内資源の肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者、肥料販売事業者、自治体、研究機関、関係団体等が一堂に会し、事業者間のマッチングのほか、基調講演や事例発表を行う「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム」を開催。
- これまで東京（大田区）、九州（熊本）、東北（仙台）、東海（名古屋）、中国四国（広島）、北海道（札幌）、東京（大田区）において、マッチングフォーラムを開催。今後、令和7年9月に近畿（大阪）、11月に北陸（新潟）で開催予定。

マッチングフォーラムについて

【開催実績】

令和5年	6月29日	第1回：マッチングフォーラム in東京	(東京都大田区 産業プラザPiO 小展示ホール)
	9月20日	第2回：マッチングフォーラム in九州	(熊本県上益城郡 グランメッセ熊本 展示ホールD)
令和6年	1月31日	第3回：マッチングフォーラム in東北	(宮城県仙台市 みやぎ産業交流センター本館展示棟 展示ホールC)
	3月1日	第4回：マッチングフォーラム in東海	(愛知県名古屋市 名古屋国際会議場 イベントホール)
	9月25日	第5回：マッチングフォーラム in中国四国	(広島県広島市 広島県立広島産業会館 東展示館)
	12月4日	第6回：マッチングフォーラム in北海道	(北海道札幌市 アクセスサッポロ 大展示場)
令和7年	1月31日	第7回：マッチングフォーラム in東京	(東京都大田区 産業プラザPiO 大展示ホール)
開催決定	9月18日	第8回：国内資源 肥料フォーラム in近畿	(大阪府大阪市 マイドームおおさか 2階C・Dホール)
	11月13日	第9回：国内資源 肥料フォーラム in北陸	(新潟県新潟市 朱鷺メッセ 2階メインホール・中会議室)

【開催内容】

- ✓ 学識経験者等による基調講演。
- ✓ 肥料資源別の先進事例の話題提供。
- ✓ 肥料サンプルや商品紹介パネル等を展示できる個別ブースを設置し、関係者間の交流の場を提供。

※in近畿、in北陸については、詳細が決まり次第、ご案内します！

【マッチングフォーラムの様相（in九州）】



11 (2) 安定調達

① 肥料原料の備蓄

- 2022年5月に成立した経済安全保障推進法に基づく「特定重要物資」として肥料を指定し、その安定供給に取り組む肥料原料の輸入事業者・肥料製造事業者による肥料原料の備蓄の取組を支援。

経済安全保障推進法（2022年5月成立）の概要

安全保障の確保に関する経済施策を総合的かつ効果的に推進するため、経済施策として、(1)重要物資の安定的な供給の確保、(2)基幹インフラ役務の安定的な提供の確保、(3)先端的な重要技術の開発支援、(4)特許出願の非公開の4つの制度を創設。

【重要物資の安定的な供給の確保のための制度の概要】

政府は安定供給を確保すべき物資を「特定重要物資」として指定。民間事業者が策定した供給確保のための計画を所管大臣（肥料の場合は農林水産大臣）が認定し、支援措置を実施。

- ＜特定重要物資の指定＞
- ・ 抗菌性物質製剤、**肥料**、永久磁石、工作機械・産業用ロボット、航空機の部品、半導体、蓄電池、クラウドプログラム、天然ガス、重要鉱物並びに船舶の部品の11物資を政令で指定（2022年12月施行）
 - ・ 先端電子部品（コンデンサー・ろ波器）を新たに追加し12物資を政令で指定（2024年2月施行）

（肥料の指定理由） 肥料の原料は、資源が特定の地域に偏在しており、そのほとんどの供給を輸入に依存。世界的な穀物需要の増加や紛争の発生等の国際情勢の変化により、原料の供給途絶リスクが顕在化。

肥料の安定供給確保に向けた施策

【目標】

2023年から、りん安・塩化加里について、保管施設の整備を進めるとともに原料備蓄水準を高め、2027年度までに、年間需要量の3か月分相当の備蓄を目指す。

【支援内容】（令和4年度補正予算額:16,000百万円、5年度当初予算額:100百万円、6年度当初予算額:26百万円、7年度当初予算額:26百万円）

- ① りん安・塩化加里を備蓄するために必要な保管費用（保管料・保険料相当額・金利相当額）
- ② りん安・塩化加里を保管するために必要な保管施設の整備費用

※ 経済安全保障推進法に基づく安定供給確保支援法人として一般財団法人肥料経済研究所を指定し、当該団体において基金を管理。

【備蓄の進捗状況】

令和6年11月までに4回の認定を行い、計12件の計画を認定。これにより、国の目標（年間需要量の3か月分）に対し、りん安は2.4か月分の備蓄体制を構築。塩化加里は国の目標を達成し、3か月分の備蓄体制を構築。

11 (2) 安定調達

② 肥料原料の安定調達に向けた外交対応

- 肥料原料の世界的な供給国を訪問し、肥料原料の安定供給について、政府関係者等に直接働きかけ。

マレーシア（尿素）

令和4年7月、宮崎農林水産大臣政務官(当時)は、尿素の世界的な供給国であるマレーシアを訪問。



令和4年7月
宮崎政務官(当時)のマレーシア訪問

モロッコ（りん安）

令和4年5月、武部農林水産副大臣(当時)は、りん安(りん酸アンモニウム)の原料であるりん鉱石の世界的な産出国であるモロッコを訪問。



令和4年5月
武部副大臣(当時)のモロッコ訪問

カナダ（塩化加里）

令和4年6月、中村農林水産副大臣(当時)は、日本の肥料原料の主な輸入事業者と共に、塩化加里(塩化カリウム)の世界的な産出国であるカナダを訪問。

また、令和5年1月、野村農林水産大臣(当時)は、ウィルキンソン・カナダ天然資源大臣に塩化加里の安定供給を要請。



令和5年1月
野村大臣(当時)とウィルキンソン大臣の
面会



令和4年6月
中村副大臣(当時)のカナダ訪問

